



平成 22 年 8 月 2 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所  
(コード番号：4570)  
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091-1  
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉  
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 木 下 憲 明  
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)  
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

**NEDO「イノベーション推進事業」に係る助成事業への採択決定に関するお知らせ  
(遺伝子組換えカイコによる診断薬用抗体製造技術の開発)**

この度、当社が提案する「遺伝子組換えカイコによる診断薬用抗体製造技術の開発」が独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の平成22年度「イノベーション推進事業（産業技術実用化開発助成事業）」に係る助成事業に決定いたしましたのでお知らせいたします。

本件は、NEDOによって民間企業等が実施する優れた技術の実用化開発を支援する平成22年度「イノベーション推進事業」に係る研究テーマの公募に対し、当社が申請を行っていたものであり、同機構による審査を経て採択が通知されたものであります。

記

1. 助成事業の概要

当事業は、遺伝子組換えカイコを用いて、感染症や癌を含む疾病の診断等に使用される診断薬用抗体を、より安価に、かつ、均一な品質で提供し、国民生活の向上に貢献することを目指しております。

現在、診断薬用抗体はマウスなどによる生産系で作製されておりますが、品質が不均一であることや、動物を使うために動物愛護の観点から問題があります。その問題点を改善するため、当社では遺伝子組換えカイコを用い、繭（マユ）の糸に抗体を大量に産生する技術を研究開発してまいりました。現在までに研究レベルではあるものの、遺伝子組換えカイコがマユに生産する抗体の品質は均一であること、かつ多量の抗体を短期間で製造できることを確認しております。今後、当助成事業において、診断薬用抗体の受託事業への実用化に向けた開発が行われることとなります。

2. 助成事業に対する支援の概要

事業名称：遺伝子組換えカイコによる診断薬用抗体製造技術の開発

助成期間：平成22年8月2日（予定）～平成24年2月28日

助成内容：助成事業において計上された費用の2分の1以内

助成事業の総費用：平成22年度分 39,710,400円、平成23年度分 25,193,120円

以上